

一般質問

◆本市の観光について

質問 国内からの観光入込客数を伺う。

答弁 令和5年は96万5098人であるが、これは国内外の区別なく宿泊者数、代表的観光拠点やイベントの来訪者数等により算出されたもの。アプリ等で居住地の把握だけでなく、付随したデータの取得ができれば活用したいと考える。

質問 地域づくりで地域に磨きをかけるための働きかけをしているか。

答弁 特段行っていないが、受入れ環境や地域の資源の磨き上げは、行わなければならないので、市民の方々に御協力をいただき、観光資源を磨き上げ、人・食等の関連性を高めていきたい。

◆DXの推進について

質問 標準システム移行に伴う課題と今後の対策について伺う。

答弁 短期間で構築の時間的余裕がないこと、国の制度改革等により一部予定より遅れていることが不安要素である。進捗情報を常に把握し、令和7年度中のシステム構築を図る予定である。

◆ICTを活用した授業について

質問 令和6年度のICTを活用した授業の実施状況について伺う。

答弁 ICTに苦手意識があった教員も進んで授業実践で活用することが多く見られるようになった。また、今年度からデジタルドリルを導入し、学習進度や理解度に合わせ学習を進め、個別最適な学びの充実につなげられている。

質問 情報モラルの教育についてはどのようにお考えか。

答弁 ICT活用に関する指針やガイドライン等に倣いながら、常に指導をしている。

質問 障がい者へのICT教育についてはどのようにお考えか。

答弁 いろいろな研究事例を参考にしながら、進めていく。



◆夏場の通学環境整備について

質問 熊の出没や異常な高温気象への対応として、早急にスクールバスによる支援を実施すべきと考えるが見解を伺う。

答弁 山田地区の熊の出没情報に対し、小・中学校の児童・生徒は、保護者による登下校の送迎や付き添いをお願いした。その後も熊の出没情報が相次ぎ、保護者の負担が長期にわたり、放課後児童クラブを利用する児童について、市の庁用バスで会場まで送り届けるなど、保護者の負担軽減を図った。高温気象への対応は、今年度、湯沢市学校教育環境適正化検討委員会、学校規模や配置方針等のほか、スクールバス乗車対象の基本方針見直しの必要性について意見をいただき、その内容を基に検討を進める。

◆公共施設の指定管理について

質問 指定管理施設の総数及び指定管理費の総額を伺う。

答弁 令和5年度末における総数は30施設である。また、令和5年度の指定管理費の総額は23

施設に対し、
2億3110
万9千円である。

質問 ほっと館と緑風荘の収支の推移とその所感を伺う。

答弁 指定管理料や修繕料等の市負担額は、入湯税収入を別として、ほっと館は、令和3年度2245万1361円、令和4年度6238万154円、令和5年度2621万6610円、緑風荘は、令和3年度2846万3円、令和4年度2946万3253円、令和5年度3601万1368円である。維持に係る負担は小さくないが、客足の回復もあり、引き続き利用者の増加と収支改善に努める。

